



JCRC

カジノ管理委員会

Recruiting Guide 2024

2024年度採用案内

私たちが創る。
未来がひらく。



TOP MESSAGE

IR（統合型リゾート）は、我が国の観光立国実現のために取り組むべき重要な施策の一つです。

カジノ管理委員会は、このIRを支えるカジノへの厳格な規制により、その健全な運営を確保し、国民の信頼に応えることを組織理念としています。

昨年4月に大阪IRに係る区域整備計画が国土交通大臣により認定され、9月には大阪府と事業者との間で実施協定が締結されました。

委員会の発足から5年目となる本年は、いよいよカジノ事業免許の申請が迫るという新たな段階に入り、厳正な審査により国民の期待に応えられるよう、準備に万全を期さねばなりません。

そのためには、新たに加わる皆さんを始めとした職員の力の結集が必要です。

カジノ管理委員会が担う業務は、我が国において前例のないものばかりです。

我々とともに多様性を活かして「思いやり、支えあい、高めあい」ながら、この挑戦しがいのある行政分野にチャレンジしてくれる皆さんをお待ちしています。

カジノ管理委員会委員長

北村 道夫

Kitamura Michio

PHILOSOPHY

IRを支えるカジノへの厳格な規制により
その健全な運営を確保し、国民の信頼に応える。

規律と廉潔性を保ち、公正かつ誠実に職務を遂行する。

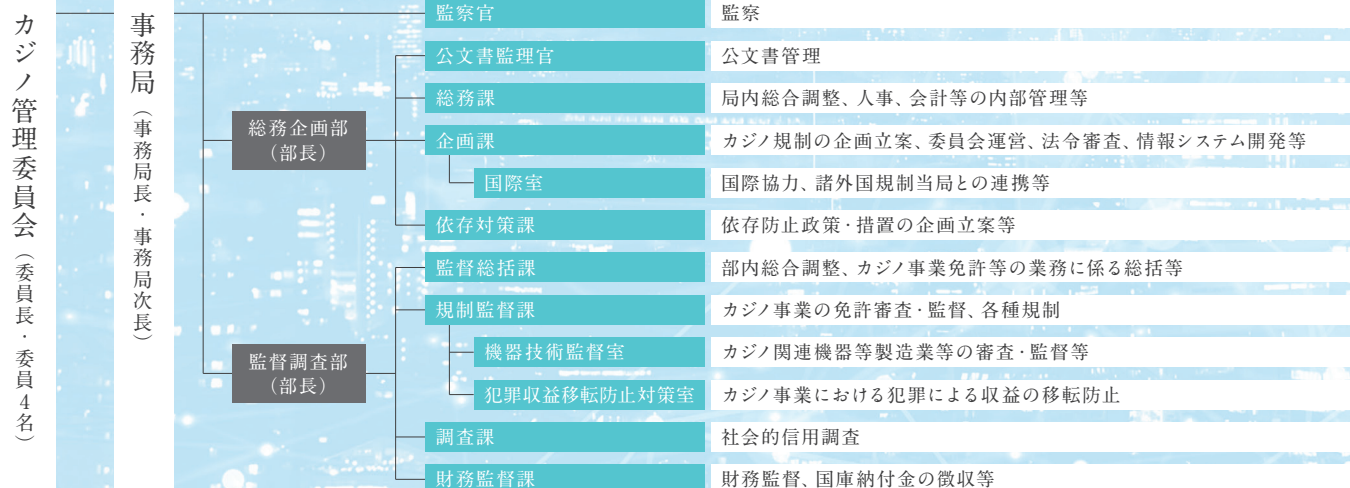
多様性を活かしたチームワーク。
思いやり、支えあい、高めあう。

カジノ管理委員会は、この組織理念の下でその責務を果たしてまいります。

CONTENTS

委員長からのメッセージ	2
カジノ管理委員会の組織理念	2
カジノ管理委員会の組織図	3
カジノ管理委員会の使命	4
カジノ管理委員会の業務	5
1. カジノ規制の企画立案（企画課）	5
外国規制当局との連携（国際室）	5
2. 依存防止対策（依存対策課）	5
3. 規制監督（規制監督課）	6
関連機器製造業の審査監督（機器技術監督室）	6
犯罪による収益の移転防止（犯罪収益移転防止対策室）	7
4. 社会的信用調査（調査課）	7
5. 財務監督（財務監督課）	7
新規採用者対談	8
係長級職員対談	10
内定者に聞く	11
職員の声	12
ワークライフバランス / 研修制度	14
採用担当からのメッセージ / 組織概要 / 問い合わせ先	15

ORGANIZATION



※令和6年2月現在

カジノ管理委員会の使命

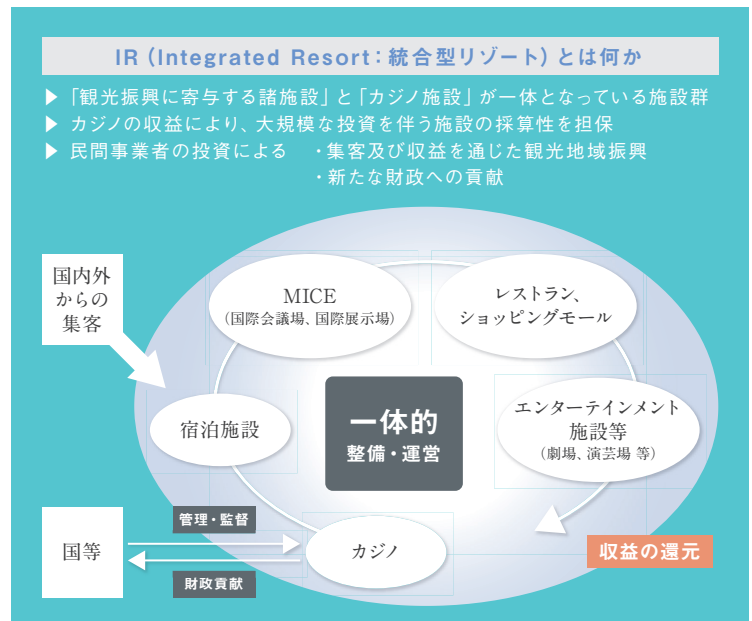
カジノ管理委員会は、厳格なカジノ規制を確実に執行し、適切な国の監視及び管理の下でIRを支えるカジノ事業の健全な運営を確保し、国民のカジノ行政に対する信頼に応えることを使命としています。

■日本型IR

特定複合観光施設区域整備法（平成30年法律第80号。IR整備法）の目的は、適切な国の監視及び管理の下で運営される健全なカジノ事業の収益を活用して、IR（Integrated Resort：統合型リゾート）区域の整備を推進することにより、国際競争力の高い魅力ある滞在型観光を実現することにあります。

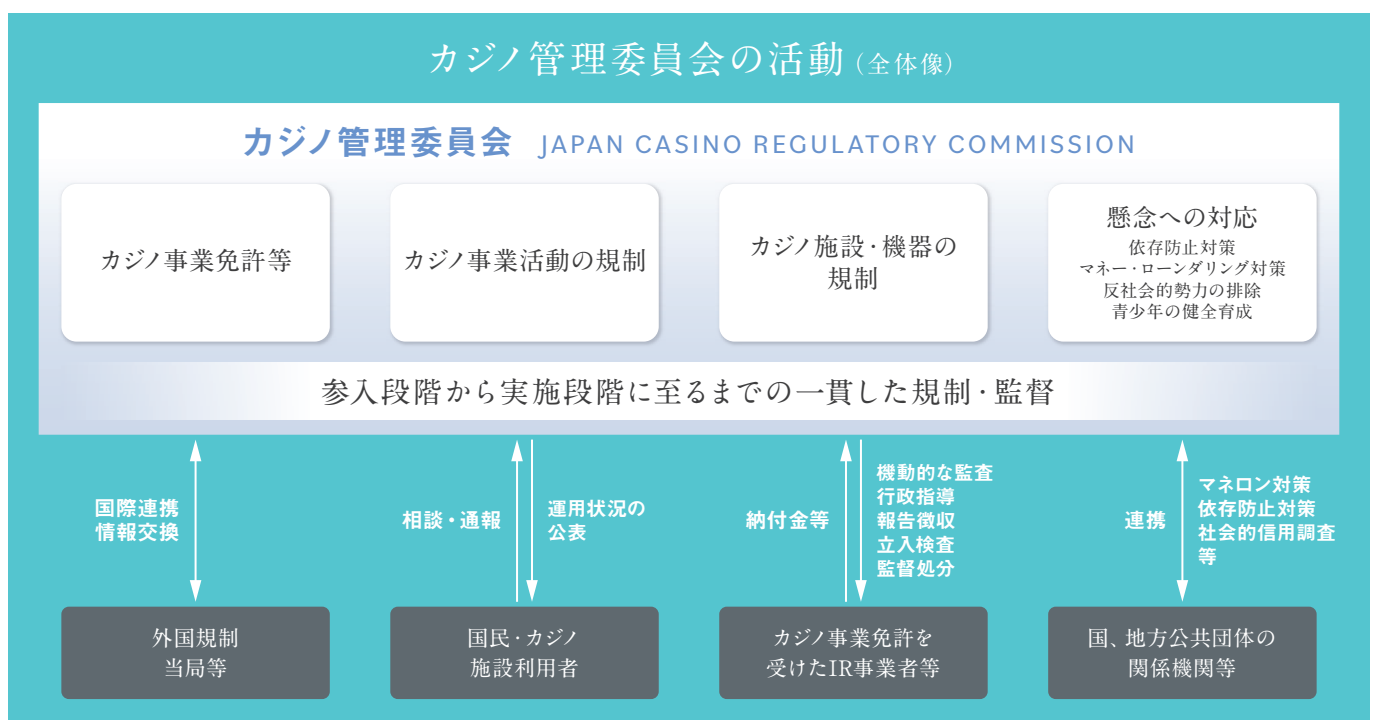
このように、MICE（国際会議場、国際展示場）や宿泊施設、エンターテインメント施設等の集客施設にカジノ施設を加えた統合型リゾート施設を一体として、その設置・運営等を法制度の中に位置付けるのは世界初の取組となります。

日本型IRにおいては、民間事業者が、これらの集客施設及びカジノ施設を民間事業者ならではの創意工夫をいかして一体的に設置・運営します。「観光先進国」にふさわしい集客施設と、収益面の原動力となるカジノ施設を、法制度のうえで一体化することにより、滞在型観光の実現、地域経済の振興、財政の改善や、我が国の経済社会の更なる発展、国際プレゼンスの向上等の公共政策上の目標を達成する装置として構成されているところが日本型IRの独自性と先進性となります。カジノ施設の収益を集客施設に再投資し、世界規模の観光デスティネーションとしての魅力を更に高めていくことが日本型IRには期待されています。



■カジノ管理委員会の活動

カジノ管理委員会は、カジノ施設の設置及び運営に関する秩序の維持及び安全の確保を図るための独立性の高い行政委員会として、①カジノ規制の企画立案、②カジノ事業免許等に係る厳正な審査、③カジノ事業者等に対する監督、④カジノ関連機器等の技術面の監督、⑤依存防止対策、⑥外国規制当局との連携、国際対応といった業務を行います。



【企画課】 カジノ規制の企画立案／委員会運営・法令審査・情報システム開発等

安全で秩序あるカジノ事業の実現を目指し、 カジノ規制の法制度・システムの整備を進める司令塔。

企画課は、健全なカジノ事業の運営を実現するため、カジノ規制の制度・システムの整備を進める司令塔として、カジノ事業者や関係省庁・自治体と、カジノ管理委員会を結ぶ橋渡しの役割を担っています。例えば、国内外の情報等を踏まえて検討すべき論点を整理し、法令整備等を通じて厳格なカジノ規制に携わったり、情報システムの整備によって、来場客のカジノ施設への入場回数の確認やカジノ事業に係る監督業務などを安全かつ効率的に行うための基盤・インフラの構築やセキュリティの確保を行ったりしています。

また、委員長を含めた5人の委員から構成されるカジノ管理委員会を運営する業務も担当しており、我が国のカジノ政策の方針決定を支えています。その一環として、海外規制当局との連携強化や、ギャンブル依存症に関する知見獲得を目的として、委員の出張を企画することもあります。



杉浦 啓祐
Sugiyama Keisuke

企画課 主査

【企画課 国際室】

諸外国の規制当局との協力関係を強化し、 国際連携を図りつつ厳格なカジノ規制に取り組む。

カジノ管理委員会は、これまで我が国に存在しなかったカジノ事業の監督という行政分野を担っています。カジノ事業者の多くはグローバルに事業展開を行っており、効果的・効率的な規制行政を行う上では、諸外国の規制当局との緊密な連携が不可欠です。このため、カジノ管理委員会では国際室を中心に、諸外国当局と更なる関係強化を図ることで、厳格かつ効果的なカジノ規制に取り組んでいます。更なる信頼・協力関係強化のためにはハイレベルの意見交換も重要であり、各国カジノ規制当局トップとの意見交換も実施しています。

また、カジノ規制に係る最新の世界的な潮流やベストプラクティスを緊密にフォローすることも重要です。世界各地で開催される国際会議への参加等も通じ、最新情勢をフォローし、我が国の規制に役立てています。



佐野 瑞樹
Sano Mizuki

国際室 係員

【依存対策課】 依存防止対策／依存防止政策・措置の企画立案等

重層的・多段階的な依存防止対策を実施し、 依存症から守る使命と責任を担う。

皆さんは「依存症」と聞いて、どんなイメージが浮かびますか。実は、誰もがなり得る病気であり、カジノについても、入場者が極端にのめり込まないよう、重層的・多段階的な依存防止対策に取り組むことが求められます。

依存対策課は、カジノによるギャンブル等依存症から人々を守るために、依存防止対策を検討・立案する役割を担っています。具体的には、①カジノゲームに触れる機会の限定、②誘客時の規制（広告勧誘の制限等）、③厳格な入場管理（入場回数制限等）、④カジノ施設内での規制、⑤相談・治療につなげる取組（本人・家族等の申出による利用制限措置等）等の対策を進めています。

依存防止対策の検討に当たっては、国内外の最新の事例や調査研究の情報収集をはじめ、関係省庁・海外規制当局との情報交換や医療関係者による研修等を通じ、現場や関係者の声の把握に努めています。



桐葉 千花
Izuriha Chihana

依存対策課 係員

【規制監督課】 カジノ事業の免許審査／各種規制・監督の実施

厳正な免許審査と規制・監督により、健全なカジノ運営を確保する。

規制監督課は、カジノ事業の免許の審査及び規制・監督に関する業務を担当しています。

①免許審査

高度な廉潔性と健全な事業運営を確保するため、カジノ事業者自身に加えてその役員や主要な株主、IR施設の土地の権利者といった関係者も含め、様々な観点から厳正な免許審査を行います。

②カジノ業務等に関する各種規制・監督の実施

カジノ事業の健全な運営のために、各種規制が設けられています。具体的には、カジノ施設で行われるゲームの種類や方法、カジノ施設の構造・設備、20歳未満の者や暴力団員等にカジノ施設を利用させないための入場管理、スロットマシン等のカジノで使用される機器、カジノにおけるマネー・ローndリング対策等、多岐にわたる分野について様々なルールが定められており、これらに基づき、厳格な規制・監督を行います。

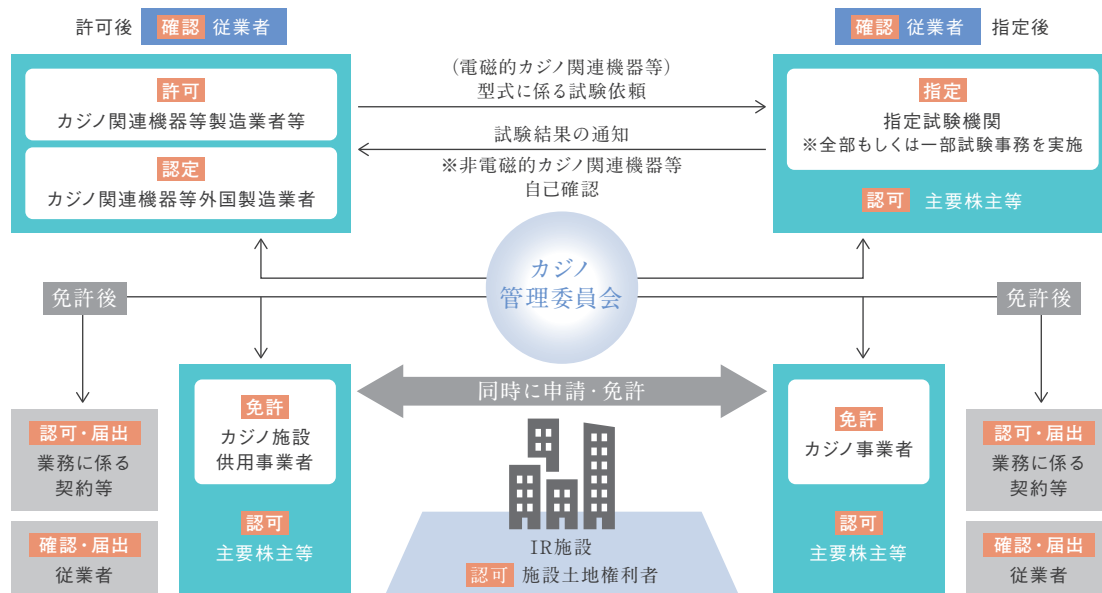


朝井 麻由

Asai Mayu

規制監督課 係長

【カジノ事業に関する許認可制度の概要】



【規制監督課 機器技術監督室】

カジノ関連機器等に関する厳正な審査・監督を行い、公正で健全なゲームの実施を技術面から確保する。

カジノで使用されるスロットマシン、テーブルゲーム用のチップ、トランプ等のカジノ関連機器の品質や性能は、カジノ事業の健全な運営に影響を及ぼすものです。このため、その品質や性能を確保し、不正な機器の流通を防止する観点等から、機器の技術規格等が定められているほか、カジノ事業者に対して当該技術規格等に適合した機器の使用を義務付けるなどの各種規制が設けられています。また、カジノ関連機器の製造・販売等を行う事業者には、当該機器の厳格な管理体制や高い廉潔性等の確保を求めるべく、これらの事業を許可制とするなどの参入規制も設けられています。

機器技術監督室では、これらの規制に基づき、カジノ関連機器の製造から廃棄に至るまでの厳正な審査・監督を行い、公正で健全なゲームの実施を技術面から確保します。



菅原 奈美

Sugawara Nami

機器技術監督室 係長

【規制監督課 犯罪収益移転防止対策室】

事業の実態に即した厳格な規制を通じて、マネー・ローンダリングを防止する。

マネー・ローンダリング（マネロン）とは、一般に、犯罪によって得た収益をその出所や真の所有者が分からないようにして、捜査機関による収益の発見や検挙を逃れようとする行為をいいます。マネロンの防止は、国際的な政府間会合（FATF）においても取組が求められており、我が国では、国際的な協調も図りつつ、カジノに係るマネロン対策として、カジノ口座開設や30万円超のチップ交付等の取引を本人確認が必要な取引に追加するとともに、チップの譲渡禁止、100万円超の現金取引の当局への届出等の規制を整備してきました。

犯罪収益移転防止対策室では、国際情勢を踏まえつつ、関係省庁や国際機関とも連携の上、マネロン規制の実効性を確保し、厳正な審査・監督に取り組んでまいります。

伊佐早 中
Isahaya Tadashi

犯罪収益移転防止対策室 係長

【調査課】 社会的信用調査／調査業務の計画立案及び実際の調査業務を担う

国際的ネットワークを活用して徹底した調査を行い、カジノ事業の廉潔性を確保する。

林 慶一
Hayashi Keiichi

調査課 係長

調査課の役割は、主に犯罪組織とのつながりを阻止するため、カジノに関わる法人・個人について国内外問わず徹底的にバックグラウンドを調査し、十分な社会的信用を有するか否かを判断することです。

しかしながら、カジノはこれまで我が国では禁止されてきたため、その免許審査や規制監督に関する知見やノウハウは海外から得るしかありません。したがって、調査課では、バックグラウンド調査に関する情報収集や意見交換を行うために、米国を始めとする外国規制当局と幅広いネットワークを構築して、密接にコミュニケーションを取っています。

税務調査や犯罪捜査の経験がある職員の経験を最大限生かして調査するために、経験豊富な外国規制当局から調査手法や心構えなどの様々なアドバイスをもらって、我が国の調査実務にどのように落とし込むかを検討するのが私の目下最大の任務です！



MI州のMinzey課長と

【財務監督課】 財務監督／国庫納付金の徴収等

カジノ事業者の財務状況を厳密に監督し、カジノ施設の健全性を確保する。

財務監督課は、カジノ事業者等の監督事務のうち財務に関する事務や納付金等の徴収等に関する事務を担当しています。

●カジノ事業者等の財務面における監督

カジノ事業等が安定的・継続的に運営されるためには、財務面の健全性も重要な要素となることから、免許等の申請時に、法定基準である「事業を健全に遂行するに足る財産的基礎を有し、かつ、当該事業に係る収支の見込みが良好であること」について審査します。免許付与後は、経理の状況等を記載した財務報告書等の提出を受け、引き続き財務面の健全性を確認します。

●納付金等の徴収

カジノ事業者はカジノ行為粗収益の30%を国庫納付金・認定都道府県等納付金として納付しなければなりません。適正な金額が納付されるよう、カジノ行為粗収益の集計に関する業務の手順及び体制の手続を認可するなど必要な規制・監督を行います。

河野 紘己
Kouno Hiroki

財務監督課 係員

私たちのアイデアとアクションでカジノの未来を創る。

令和5年度採用
総務企画部総務課

岡野 怜奈

Okano Reina



今の仕事について
教えてください。

片山 私がいるのは規制監督課の入場チーム、カジノへの入場規制や秩序維持を担当する部署になります。入場規制の大枠は法律で決まっていますが、それを具体的にどう実施していくのか、カジノ事業者をどう指導していくのかを考えています。実際に営業している海外のカジノの例を調べることも大事な仕事で、カジノの視察の他、国際的な学会のセミナーへの参加などもあります。規制監督課は海外とのやりとりや出張の機会が多いので、楽しみです。

岡野 総務課の人事担当で、給与や福利厚生関係の仕事をしています。職員の給与計算や健康管理、共済組合関係の手続等の業務です。職員全体に関わる仕事なので、様々な問い合わせがあり、すべての職員の方々と直接やりとりする機会があるので、部署をまたいで声をかけてもらえるのが嬉しいですね。

就職先としてカジノ管理委員会を
選んだ理由を教えてください。

片山 私は新卒でメーカーに就職し、商社部門で3年ほど働いた後、カジノ管理委員会に2022年11月に入局しました。もともと公務員志望でしたが、前職で省庁とやりとりするうちに改めて国の仕事に憧れるようになりました。カジノ管理委員会を選んだのは、他の省庁と比べて圧倒的に歴史が浅く、先輩の少ないこの時期に入ったら大切にしてくれそうだったからです。

岡野 私は大学3年時から公務員をめざしていました。国家公務員の一般職の合同説明会に参加したとき、カジノ管理委員会という省庁名が独特だったので興味本位で説明を聞いたのがきっかけです。説明を聞いていく中で、歴史が浅い組織ということで、自分たちでつくっていけることに魅力を感じたのと、1回しかない新卒の機会なら、独自性の高いところで働いてみたいと思い決めました。

実際に働いてみて
どんな職場ですか。

岡野 実際に仕事をしてみて感じたのは、働き方が柔軟ということです。仕事にもよりますが、テレワークやフレックスタイムなどの制度を活用して時間を有効に使えるようになっています。私の場合はフレックスタイムをかなり活用しています。

片山 何もわからないまま入局しましたが研修や先輩職員のサポートがしっかりしているので、大きな不安はありませんでした。私の部署には警察庁と国土交通省からの出向者がいますが、それぞれ仕事の進め方や文章の作り方に特徴があって、それでいてぶつかり合うこともなく、お互いを尊重しながら調和して仕事をしています。それぞれの出身省庁のいいところを混ぜあわせて仕事を進めているように感じます。

岡野 私の部署にも人事院や国税庁から出向されている方がいて、人事院の方に人事のノウハウを聞いたり、国税庁の方に年末調整のことを聞いたりしています。それぞれの仕事のエキスパートの方がいて、そ



それぞれの知見を持ち寄ってくれるので助かっています。

片山 まだ1年ですけど、有給休暇も使いやすいです。上司も気軽に有給休暇を取るので部下も取りやすいんです。テレワークも私の業務都合で申請すれば、希望に応じて行うことが可能です。

仕事で大変だと思ったのはどんなことですか。

岡野 局内に周知するメールの文言の書き方に苦労しています。幹部も読むので気を遣いますね。初めの頃は、送る前に上司に逐一確認してもらっていました。上司や先輩の皆さんが丁寧に教えてくれるので、今ではある程度文章は自分の判断で出せるようになりました。

片山 海外のカジノで発生した大規模なサイバー攻撃事件について調べたことがありますが、私はまだ英語が得意ではないため大変だった記憶があります。海外のカジノ事業者や行政機関等の公表情報やニュース等の報道資料から情報収集を行いました。もちろんすべて英語の文書であるため、正確に情報を読み取ることに苦労しました。また、この業務を機に本格的に英語を勉強しようとも思うようになりました。

カジノに関わる仕事をするということについてまわりの反応はいかがですか。

片山 私自身、カジノは映画のなかで、ギャングやマフィアが暗躍する場所というイメージがありました。しかし、海外の実際のカジノについて勉強すると、海外規制当局に

よるとても高度な規制が行われているとわかります。同世代の友人たちにはカジノ・IRはインバウンドを呼び込む重要な政策であり、安全なカジノを実現するためにカジノ管理委員会が必要だと話すと、みんな納得してくれます。

岡野 私の場合、まわりに公務員試験を受けると伝えていたので、カジノ管理委員会に就職したと伝えると、みんなポカンとしていました。カジノを日本につくろうとしていることは知っていても、行政がカジノを規制するとは思わなかったようです。私もカジノには怖いイメージがありましたが、合同説明会で話を聞いて安全だとわかり、カジノ管理委員会の重要性を知ったので、そのことはまわりの人たちに伝えて、理解してもらっています。

就職を考えている方にメッセージをお願いします。

片山 カジノに対する国民の大きな懸念のひとつである「社会秩序の乱れ」を防ぎ、不安要素を払拭し、理解してもらう重要な仕事。それを自分で考えて、進めることができるのです。仕事に積極的に関わりたい人、膨大な資料から正解を探してくる謎解きが好きな人にはおすすめの職場です。海外出張の機会があることも大きいと思います。

岡野 様々な省庁からの出向者や、海外のカジノ関係者とコミュニケーションを取りながら仕事を進めることが多いので、様々な人と関わる中で仕事をしたいと思う方は、候補のひとつに加えてほしいと思います。私も勉強して、いずれは依存防止対策に取り組む仕事をしてみたいと思っています。

令和5年度採用
監督調査部規制監督課

片山 達斗
Katayama Tatsuto



係長級職員対談

今、創成期から関わることでカジノ・IRに関する第一人者に

ご自身のキャリアと今の仕事について教えてください。

中川 私は国土交通省から自分で希望して転籍してきました。観光庁に在籍していた時から、カジノ・IRには大きな関心を持っていたんです。仕事はカジノ事業者の内部管理体制の審査を担当しています。簡単にいうと、カジノ事業者が法令を守れる仕組みを持っているかを確認する仕事。IR整備法はもちろん、カジノ事業者はあらゆる法令、規範を遵守しなければならないので、審査においても広範な法知識が必要となります。求められる水準は高いのですが、その分やりがいのある仕事です。現在は申請が来た時に備えて準備を進めている段階です。

木村 私は製薬会社の営業として働いていたのですが、仕事の関連でカジノ管理委員会を知りました。行政組織の創成期に関わることができ、社会貢献にもなると考え転職しました。今は委員会の運営、規制に関する事業の企画、事業者・自治体と各課室との橋渡しなどの仕事をしています。委員が議論することの整理や、議論した結果の周知などです。各委員の海外出張の企画も行っています。



監督調査部監督総括課 係長
中川 拳太
Nakagawa Kenta

印象に残っている仕事はありますか。

木村 ニュージャージー州、マサチューセッツ州への出張に同行して、カジノで話を聞き、現場や裏側を見てきました。初めて見るカジノは本当に映画で見るような世界で、海外規制当局のトップの話を直接聞いたことは大変勉強になり、参考になることも多くありました。やはりこういうものを日本でつくるには、規制をしっかりとしていかなければ、思いを新たにしました。

中川 様々な省庁からの出向者が自分たちの知見を出し合って業務を進めるのですが、その議論が印象的です。国土交通省では常識だったことが他の省庁では違って、視野が広がる職場だと思いました。

どんな職場ですか。

木村 今までの職場と大きく違うのは、自分の役割がはっきり決まっていることです。他の仕事ときっちりラインが引かれ、業務に集中しやすい。創成期で混乱しやすい中、自分が何をしなければいけないかが具体的にっており、働きやすい環境であると思います。その上で、部署横断の様々な交流会や勉強会が開かれるので、職場は風通しのよさを感じています。

中川 自分の考えを反映しながら新しい組織をつくっていくことができる、風通しのよい職場です。全員がそれぞれの経験や意見を持ちながら、初めてのことに挑戦しているので、議論はけっこう白熱します。そういう議論も結果的にオー

ブンな雰囲気をつくり、良い方向に向かっていると思っています。

カジノ管理委員会を目指す方にメッセージをお願いします。

木村 どんなことに対しても興味を持てる人、決まっている業務というよりは仕事や組織をつくっていくことに魅力を感じられる方には向いていると思います。今ならカジノに関してスペシャリストになれる可能性が高い仕事です。日本では先達者になれる。そういう志向の方にはおすすめです。

中川 観光庁での経験から、観光は世界的にも成長産業で、IRは日本経済の柱になると確信しています。日本の未来を担う政策に携わりたい方には、ピッタリな職場です。



総務企画部企画課 係長
木村 伊織
Kimura Iori



内定者に聞く

カジノ管理委員会の2023年度内定者に内定に至る道のりについて聞きました。

Q1

カジノ管理委員会に興味を持ったきっかけを教えてください。



各府省合同業務説明会に参加し、興味を持ちました。最初は、「カジノ」という横文字がカッコイイという軽い気持ちで、説明会に参加しましたが、業務内容やこれから入局する人たちで、カジノ行政の歴史を創っていくという言葉に魅力を感じました。



説明会で堅そうなイメージの省庁が軒を連ねている中、「カジノ」という見慣れない単語を組織名に含んでいるのを新鮮に感じ、説明会を聞いてみたことがきっかけです。



WEB公務研究セミナーで様々な省庁の説明会に参加していく中で、カジノ管理委員会の説明会に参加し、日本にこれまでなかった行政分野を築いていくという部分に興味を持ちました。

Q2

説明会や官庁訪問の前まではカジノ管理委員会にどのようなイメージを持っていたか。



新設の委員会であると思いき、各省庁との連携が重視される委員会であると思っていました。また、カジノ管理委員会は、日本のカジノ運営を主導する組織であるとも思っていました。



数ある省庁の中でも変わり種であるイメージです。



最初は、カジノを推進する機関だと思っていました。



カジノに関する仕事をするという漠然としたイメージです。



カジノの知識はなかったため、不安もありましたが、どちらかというと面白そう、やりがいがありそう、というイメージが強かったです。

Q3

説明会や官庁訪問を経てイメージは変わりましたか。



変わりました。カジノ規制や依存防止対策などを海外規制当局とのやり取りや様々な文献を参考に行っている聞き、各省庁との連携だけでなく、グローバルな視点や科学的な視点で業務に取り組んでいるというイメージに変わりました。



説明会に参加した際は聞き慣れない単語を多く耳にし、なんだか難しそう…と不安に思った部分もありました。しかし、官庁訪問では職員の皆さんが丁寧に対応してくださり、柔らかな雰囲気ギャップを感じました。難しいことも、業務をしていく上で覚えていけばいいのだと安心できました。



カジノの推進ではなく、カジノの規制・監督を行う仕事だと、イメージが変わりました。



職場もとても綺麗で、イメージの変化はあまりありませんでした。

Q4

カジノ管理委員会を選んだ決め手を教えてください。



前例のないことに挑戦し、カジノ行政の新たな歴史の1ページを創ることができるとことが、決め手となりました。



日本に前例のないカジノ事業の先端に立って携われることに魅力を感じました。



カジノ管理委員会であれば経験できないような珍しい仕事に携われる点、プロパー職員の数が少ないため、自分の力を発揮しやすいのではないかと考えた点が魅力的でした。



新しい行政分野を創っていくチャレンジングな仕事であり、カジノ監督行政の専門家を目指して成長していけると思ったこと、多様なバックグラウンドを持った方が集まり、海外出張の機会もある職場環境で、刺激を受けつつ働けるということが決め手でした。

Q5

説明会や官庁訪問を通して職員にどのようなイメージを持ちましたか。



とても親切で、私の話を真剣に聞いてくださるという印象を受けました。



多様なバックグラウンドを持った方々が、お互いを尊重しながら働かれているイメージを持ちました。



規制行政事務を司る点から職員の方々の大半は厳しい方なのかなと思っていましたが、官庁訪問は終始和やかな雰囲気で行われ、居心地の良さを感じました。



職員の皆様が、非常に優しく接してくださり、働きやすそうだと感じました。



細かい質問にも真摯に答えてくれる真面目なイメージ

Q6

カジノ管理委員会を目指す方にメッセージをお願いいたします。



カジノ管理委員会には、様々な省庁からの出向者が多数在籍しています。コミュニケーション能力に自信がある方やカジノ行政の新たな歴史の1ページを創ることに興味がある方は、カジノ管理委員会を目指していただきたいです。



一からコツコツと積み上げていくことが好きな方向いている仕事内容だと思います。少しでも頑張ってみたい、挑戦したいという気持ちがある人は官庁訪問に行ってみてください。就活でも、挑戦し続ければ良い結果がいつか出てくると思います。頑張ってください！



継続は力なりだと思っています。カジノ管理委員会で働きたいという熱い気持ちを持って、最後まで自分を信じて頑張ってください。



カジノ管理委員会を一言で表してください。

個性が調和する職場

フレッシュな組織

新しいことに挑戦できる職場

パイオニアになる

日本の新しい魅力を厳正な規制のもとで
創出し、維持していくための組織

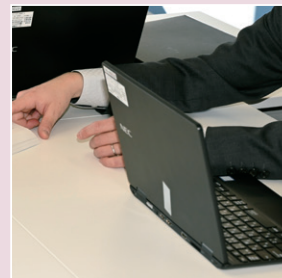
公正・厳格なカジノ規制で、国民の信頼に応える

成長過程にある組織

多様性あふれる職場

1つの職場、多様な人生

カジノの適切な規制に向かって
前進していく組織



ひとりひとりが自分らしく
柔軟に働ける職場

ここにしかない
仕事のある職場

いろんな分野の専門家が
集まる職場

日本初の仕事が
出来る場所

カジノ管理委員会の魅力について教えてください。

世界最高水準のカジノ規制に向けた国際的なコネクションの
維持・構築。

今までにない行政分野を検討するにあたって、ルーチンワークではなく
柔軟な発想をいかした業務を行えること。

個人や家庭の事情に合わせた働き方ができる場所。

新しい行政分野の開拓。皆さんも開拓者になりませんか？

前例のない業務に取り組むにあたって、ありとあらゆる知見を得るべ
く、新しい挑戦をどんどん応援してくれるところ。

英語研修を始め、将来的な留
学制度の予定など、自己成長
の機会も多岐にわたること。



様々な課題に対し、経験と知恵をフル動員させて解決し、
カジノ規制の礎を創れること。

職員全員で新しい業務に取り
組んでいるので、自分の意
見や考えをくみ取ってもらえ
ること。

日本で初めてのカジノ事業
に関する業務に関われるこ
と。



他省庁出向者が大多数の職場ですが、雰囲気はどうか。

カジノ管理委員会で採用されたプロパー職員と様々な府省からの出向者がそれぞれの個性・専門性を尊重し、学び合い・補い合う。

職員のバックグラウンドが多様多様な分、意見や考え方も様々で、業務内外問わず多くの気付きを得られる点が、他の府省にはないカジノならではの魅力だと感じます。

各々の出向元の所管事務に係る知識を得る機会が多く、日々学びを得られる。その他、各省庁独自の文化・業務手法についても把握することができる、多様性に満ちた魅力的な雰囲気がある。

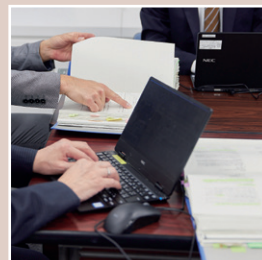
ほとんどの省庁から出向してきており、自分がそれまで想像もしていなかった多様な知見が得られるため、勉強熱心で見聞を広めたい人にぴったりです。

各省庁の仕事の話が聞けて楽しいです。

多様なバックグラウンドを持つ職員同士で活発な議論が行われる職場。

多様な経験を持つ職員たちが、年齢関係なくそれぞれの専門性や知見を持ち寄って、協力しあう雰囲気があります。

緩急がしっかりした、仕事に集中しやすい雰囲気であると思います。



府省ごとに固まっているということもなく、フラットな組織だと感じています。

カジノ管理委員会を目指す方にメッセージをお願いします。

やりがいを持って真新しい分野にチャレンジできる点において、とてもいい職場環境だと思います。また、海外事例の調査や海外出張の機会もありますので、グローバルな視点からカジノ規制について検討することもできます。

世界のカジノをとりまく潮流や環境をよく勉強しつつ、国家公務員の現状を踏まえて、強い志と目標を持つことができたのであれば、この世界に飛び込むべき。

カジノ管理委員会のミッションは、我が国で初めてとなるカジノ規制です。先輩職員も含め皆が「初心者」であるため、カジノ管理委員会を目指すに当たって特別な専門知識などは必要ありません。我々のミッションに共感し、知識・ノウハウを貪欲に吸収していく、そんな気概のある皆さんの応募をお待ちしています。

行政の現場で新しい仕組み作りチャレンジできる貴重な現場です。関心を持っていただけると幸いです。

日本に前例の無い行政分野をゼロから創っていく魅力は何物にも代えがたいですし、全てが良い経験となり、自分の糧になると思います。

新しい行政に取り組む熱意のある方は是非。

「カジノ規制」という、これまで日本に存在しなかった新たな行政分野を足場として、観光先進国へ向けて日本の未来を切り拓いていく、そういう気概と責任感を持った仲間を、私たちは求めています。



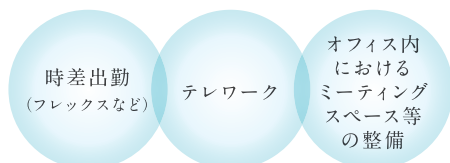
他省庁出向者が大多数の職場において、長期的にカジノ規制に取り組むプロパー職員は、カジノ管理委員会の中心的存在として、今後ますます重要な役割を持つことになると考えられます。粘り強く、一つのことに最後まで責任をもって取り組みたい方におすすめの職場です。

ワークライフバランス

Worklife Balance

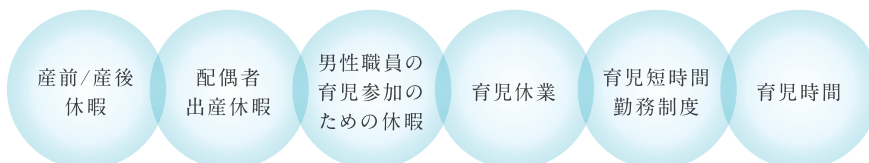
カジノ管理委員会では、ワークライフバランスを推進しており、様々な取り組みを進めております。

>働き方改革の取り組み



年次休暇平均取得日数(令和4年度) 15.3日

>仕事と育児の両立を図るための主な支援制度



など

職員の声

多くの職員がフレックスタイム勤務やテレワークなどを実施しており、柔軟に働き方を選択できる点が魅力です。勤務形態を変えながら勤務することができる雰囲気なので、非常に満足しています。



男性職員の育児参画実績

男性職員の配偶者出産
休暇・育児参加のための
休暇取得率
(いわゆる「男の産休」)

100%

(令和4年度)
(令和3年度: 100%)

男性職員の
育児休業取得率

75%

(令和4年度)
(令和3年度: 50%)

研修制度

Training Program

人事院や他府省等が主催する各種研修のほか、カジノ管理委員会が独自に実施する研修制度があります。

>新規採用者研修

国家公務員として必要な心構えやカジノ管理委員会での業務に必要な基礎知識を身につけるため、組織の業務内容や国家公務員としての倫理やサービスを学びます。

また、外部の講師を招き、職場で活用できるコミュニケーションスキルを習得するプログラムを設けております。

>英語研修

カジノ行政の推進には、先行する海外の知見や、海外当局との意見交換が不可欠なことから、職員の英語力を高めるため、週に1度ネイティブの講師を招き研修を実施しています。

講座は少人数かつ習熟度別にクラスを分け、初心者からでも安心して参加できる内容になっています。

職員の声

研修が充実しており、プライベートの時間も確保しやすいことから、採用後も勉強しやすい環境です。様々な分野に関心を持ち、意欲を持って学び続けることのできる方をお待ちしています。

右写真: 令和5年度英語研修(応用コース)



採用担当メッセージ

我々は、これまで我が国に存在しなかったカジノ事業の監督という新しい行政分野に日々取り組んでいます。

このパンフレットで紹介したように、カジノ規制の内容は多岐にわたっています。そのため、各府省等の枠組みを超えて様々な分野から多様な人材が集い、議論を重ねながら、前例のない行政分野を創り上げているところです。

我々は、新しい行政分野を共に創っていくという気概のある方にこの組織の中核を担ってほしいと考えております。そして、カジノ行政に対する国民の信頼を確保するという使命を果たすため、規律と廉潔性を保ち公正かつ誠実に職務を遂行する志のある方と一緒に働けることを願ってやみません。

新たな行政分野を創り上げるという意欲あふれる皆さんをお待ちしています。

私たちが創る未来がひらく。

[組織概要]

- 所管業務／カジノ事業の監督
- 設 立／令和2年1月7日
- 職 員 数／164人（令和5年度未定員）
- 給 与／一般職（大卒程度） 初任給例：235,440円
- 勤務時間／1日7時間45分勤務
- 昇 給／年1回 賞与／年2回（6月・12月）
- 休日休暇／週休2日制、祝日、年次休暇、病気休暇、特別休暇（夏季・結婚・出産・忌引・ボランティア等）、介護休暇及び介護時間 等
- 保 険／内閣共済組合

[問い合わせ先]

TEL: 03-6453-0201(代)

事務局 総務企画部総務課 採用担当
〒105-6090 東京都港区虎ノ門4丁目3-1 城山トラストタワー12・13階

■ アクセス

東京メトロ日比谷線「神谷町」駅 神谷町MTビル出口
東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅 泉ガーデン出口





カジノ管理委員会
採用ページ

[https://www.jcrc.go.jp/
about/recruit/index.html](https://www.jcrc.go.jp/about/recruit/index.html)



カジノ管理委員会
ホームページ

<https://www.jcrc.go.jp>